転して実施する保育事業を行う複合施設となる。

問 大洲市アフタースクールひじかわが設置されたことにより、相談業務を担う「そよ風」の活動拠点が今後２カ所になるのか。

答 あくまで「そよ風」の拠点は大洲市アフタースクールおおずであるが、相談業務等のために肱川に出向くことで、利用者が大洲市内まで足を運ばなくても、より身近に相談を受けることができるよう、利便性の向上を図る目的で相談室を設ける。

意見 肱川地域で相談業務が行えることをより多くの方に知っていただき、気軽に相談等ができるよう、学校等を通じて事業の周知徹底に努めてほしい。

大洲市アフタースクールひじかわ
（家庭教育や子育てに関する総合的な支援を行う施設）

◆大洲市子ども医療費助成条例の一部改正について

説明 病気の早期発見と治療を促進することで、子供を産み育てやすい環境づくりと、子育て世代における経済的な更なる負担軽減を図るため、すでに実施している助成対象を拡充し、高校生等までの医療費を全額助成とするよう条例を改正するもの。

令和５年４月診療分から適用し、助成方法はこれまでと同様に現物給付される。

問 今回の改正によって18歳まで対象が拡大となるが、例えば就職し、給与所得の関係で親の扶養から外れる場合など、15歳まで対象としていたこれまでの状況とは違ったケースも想定される。その際も助成対象となるのか。

答 今回の改正は、所得制限や就職、あるいは婚姻等といった制限を設けておらず、18歳に到達する年度末まで対象となる。

問 自治体によっては、先行して18歳までの医療費を全額助成しているところもあるが、事業継続への懸念として、予算的課題や過剰受診など他の先進地の課題等も検証されたのか。

答 県内ですでに実施している先進自治体から情報収集を行ったうえでの改正であり、その中で、コロナ禍であるということもあり、いわゆるコンビニ受診やはしご受診といった過剰的な受診形態はあまり見受けられない。

意見 子供たちが減少していく現状を考えると、視点を変えれば未来を担う子供たちへの子育て支援とも言えることから、事業実施について賛同する。

産業建設委員会　委員長　弓達　秀樹

《令和４年度大洲市一般会計補正予算》

◆運送事業者等燃油価格高騰対策支援給付金

説明 コロナ対策として、愛媛県の委託を受けて、一般社団法人愛媛県トラック協会が行う「燃油価格高騰対策支援金事業」の補助対象となった事業者に対する上乗せ給付と、同支援金事業の補助対象外である軽自動車による運送事業者と自動車運転代行事業者に対し給付金を交付するもの。

問 給付金の対象範囲は。

答 愛媛県が行う給付は、県トラック協会に登録されているものについてはすべて対象となる。トラック協会に入っていない事業者についても対象にはなるが、若干、補助金額は下がることとなっている。市については、一律で給付する。

問 経営が厳しいため支援をするということであるが、実際、運送業界の経営はどのような現状か。

答 ヒアリングを行った運送業者によると、燃料価格高騰の影響を受けて、月に数百万円の単位で余分にお金がかかっている状況にはあるが、なかなかそれを輸送代に価格転嫁しにくいところもあり、経営面でかなり困窮されていると伺っている。

◆陳情第１号　2018年豪雨災害廃棄物最終処分過大支出約23億円の返還命令を求める陳情

趣旨 2018年豪雨災害における廃棄物最終処分費用の支出は過大であると思われることから、大洲市に対し、当該企業への返還命令を求めているもの。